

## 取扱説明書



御使用前にこの取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
その後、大切に保管し必要なときお読み下さい。

## 御使用上の注意事項

本製品は精密機器ですので取り扱いには十分御注意ください。

## 1. 設置場所は下記の場所を避けて下さい。

- ・直射日光が当たる場所や周囲温度が 0～50 の範囲を越える場所
- ・腐食性ガス(特に硝化ガス、アンモニアガスなど)や可燃性ガスのある場所
- ・塵埃、塩分、鉄粉が多い場所
- ・振動、衝撃の激しい場所
- ・相対湿度が 45～85%の範囲を越える場所や温度変化が急激で結露するような場所
- ・水、油、薬品などの飛来がある場所
- ・ラジオノイズの影響が考えられる場所

## 2. 各種出力機器との接続について

ノイズによる誤動作防止として次の対策をとって下さい。

- ・入力ラインに 1 芯シールド線を御使用下さい。
- ・入力ラインは高圧線や動力線との平行配線、同一電線管配線を避け、必ず単独配管とし、できるだけ短く配線して下さい。

## 3. 供給電源について

電源電圧は使用可能範囲内で御使用下さい。使用可能範囲外で使用しますと火災・感電・故障の原因となります。

電源に大きなノイズがのっている場合には、誤動作の原因になりますのでノイズカットリッパなどを御利用下さい。

また、頻繁な電源の ON/OFF は避けて下さい。

## 保証範囲

- (1) この製品の保障期間は納入後 1 年間と致します。保障期間内に弊社の責による故障が生じた場合には、その機器の故障部分の修理または交換を行います。

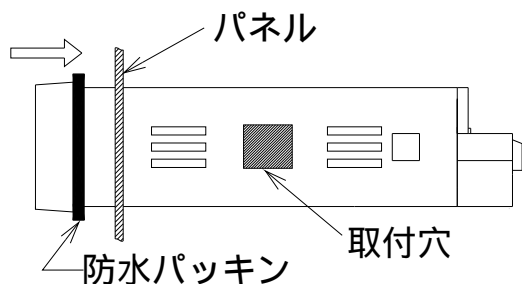
ただし、次に該当する場合にはこの保証の対象範囲から除外させていただきます。

- お客様の不当な取り扱い、または使用による場合
- 故障原因が納入品以外の事由による場合
- 弊社以外の改造、または修理による場合
- その他、天災・災害・戦争などで弊社の責にない場合

なお、ここでいう保証は納入品単体の保証を意味し納入品の故障により誘発される災害はご容赦いただきます。

- (2) この製品は、人命に関するような状況の下で使用される機器、あるいはシステムに用いられることを目的として設計・製造されたものではありません。

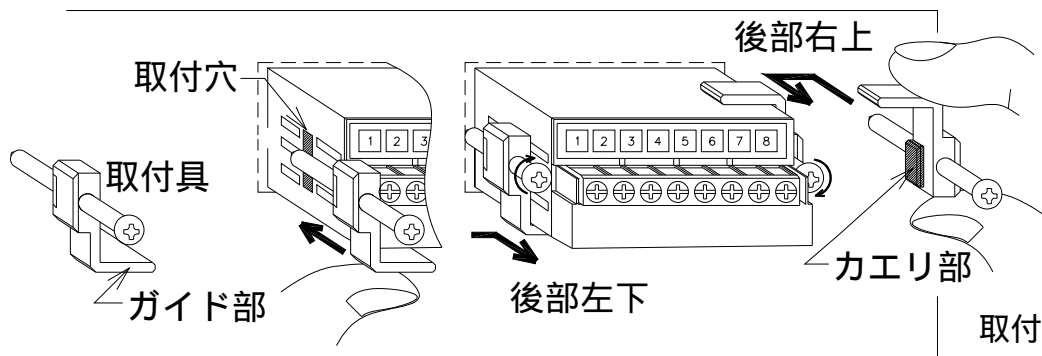
## 取付方法



防水パッキンを取付け、本体をパネルに前面から挿入します。

### 付属品

- ・防水パッキン(1個)
- ・取扱説明書(本書)(1部)
- ・取付具(2個1組)



取付具ねじ締付トルク  
0.15N.m ~ 0.3N.m

取付具を本体後部右上と左下の2箇所それぞれ取付けます。

取付具のガイド部をケース左下コーナーまたは右上コーナーに沿わせながらケースの取付穴にはめ込みます。

後方へ引きながらネジを2箇所均等に締めつけて固定してください。

### ⚠注意

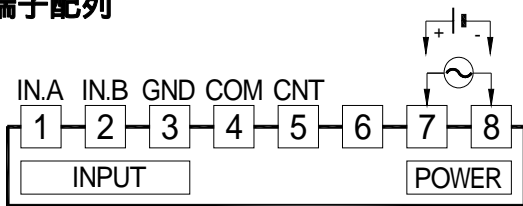
0.3N.m以上で締めつけるとケースおよび取付具が変形しますのでご注意ください。

## 定格仕様

電源電圧	MJ41B : AC100V 50/60Hz 共用 (許容電圧変動率 90 ~ 120%)
	MJ41C : AC200V 50/60Hz 共用 (許容電圧変動率 90 ~ 120%)
	MJ41E : DC20V ~ 30V リップル率 5%以内
絶縁抵抗	入力-電源間 100M 以上 (DC500V)
消費電力	約 4VA(ACタイプ) 約 2W(DCタイプ)
使用周囲温度	0 ~ 50 (ただし、氷結しないこと)
使用周囲湿度	45 ~ 85%RH(ただし、結露しないこと)
保護構造	前面ハコ部 IP65
外形寸法	24H × 48W × 90Dmm DINサイズ*
ハコカット	22.2H(公差+0.3 -0) × 45W(公差+0.6 -0) mm
質量	約 70g

# 端子配列

## 端子配列

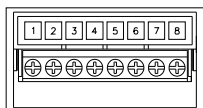


オプション-H : HOLD 端子

NO	名称	内容
1	IN.A	入力信号
2	IN.B	
3	GND	入力 GND
4	COM	端子 のCOM端子 (端子 - 内部接続)
5	CNT	CNT (コントロール) 端子 端子 と短絡間、ゼロ表示 (リセット) します。
6	N.C	(注) 中継端子として使用しないでください。
7	POWER	電源電圧
8		

## 端子部仕様

ピッチ	5mm
接続電線サイズ	26 ~ 14AWG
電線剥離長さ	6 ~ 7mm
径	M2.5
締付トルク	0.5Nm



## 注意

1. 入力信号のシールド線は、必ず、端子 (GND) へ配線して下さい。アースとは接続しないで下さい。
2. 入力に仕様外の信号入力を加えると破損します。アースとは接続しないで下さい。
3. 電源の投入/遮断は一気に行ってください。

## 入力信号の配線

型番	入力信号	端子 (IN.A)	端子 (IN.B)	端子 (GND)
MJ41 1	電圧出力パルス	(OUT)		(0V)
	NPN オープンコレクタ 有接点		(OUT)	(0V)
	AC タコジェネ			
MJ41 2	AC タコジェネ			
MJ41 3	マグネチックセンサ			

(注) 方形波パルス入力端子は IN.A、IN.B の 2 箇所あります。センサー仕様に合せて配線して下さい。なお、IN.A、IN.B 同時に配線しないで下さい。

## 入力仕様

タイプ	入力信号	応答速度	入力レベル	入力インピーダンス
1	方形波パルス	0.001Hz ~ 100kHz	HI: 4-30V LO: 0-1.5V 1	約 10k (端子) 約 1.5k (端子) 2
2	AC タコジェネ	10Hz ~ 3kHz	0.8V ~ 80VAC	300k 以上
3	マグネチックセンサ	0.3Hz ~ 30kHz	0.3V <sup>P-P</sup> ~ 12V <sup>P-P</sup>	200k 以上

精度:  $\pm 0.003\% \text{rdg} \pm 1 \text{digit}$  ただし、23  $\pm 5$  とする。

- ・ 応答速度は duty50% とする。
- 1 応答速度 50kHz 以上については TTLレベルとする。
- 2 端子 の入力 で NPN オープンコレクタ入力、2 線式センサーご使用の場合は以下の内容のものをご使用ください。  
(メタ内部は 12V 1.5k で接続されています。)  
ON 時: 残留電圧 3V 以下 負荷容量 8mA 以上  
OFF 時: 漏れ電流 1.4mA 以下
- 3 OFF SET 電圧は 0V ~ 7V の範囲内とする。

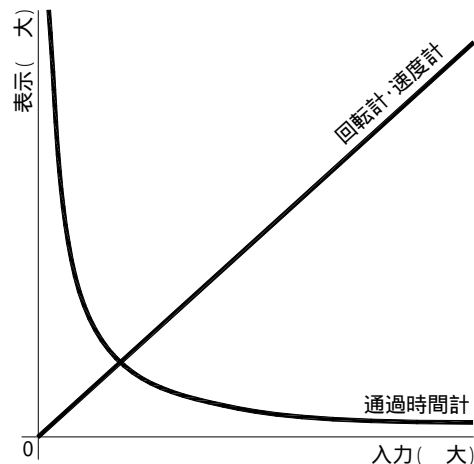
## 外部制御端子 (端子 ; CNT 端子 オプション H: HOLD 端子)

- ・ 負論理入力 (無電圧入力) 最小 ON 巾: 約 40msec
- ・ オープンコレクタ (NPN) 入力する場合 (以下のものをご使用ください。)  
ON 時: 残留電圧 3V 以下 OFF 時: 漏れ電流 1.4mA 以下
- ・ ON 時、約 7.4mA 流れます。内部抵抗 1.5k

## 機能説明

MJ41 シリーズは通過時間計 (J) と回転・速度計 (r) との機能の切替が可能です。  
使用目的に合わせて選択ください。なお、出荷時の設定は通過時間計になっています。

機能	通過時間計 (J)	回転計・速度計 (r)
動作	表示値は入力信号に反比例。 原理的に停止時は (無限大) 高速時は 0 (ゼロ) 表示に向います。	表示値は入力信号に比例。 停止時は 0 (ゼロ) 表示する。
単位	「分・秒」「時・分」など。	「rpm」「m/min」など。



(備考)

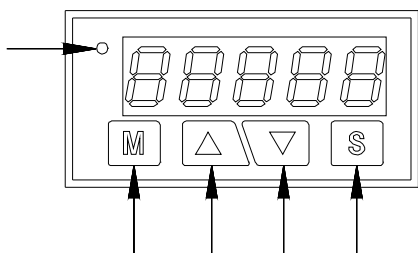
本メータは通過時間計の場合、停止時はゼロ、高速時は 1 になります。

(高速時はゼロにはなりません。)

また、低速時の表示値が 5 桁最大表示を超える入力であってもエラー表示などしません。

なお、低速時の不要に大きい表示はパラメータ 11 のセットゼロをご使用ください。セットゼロは設定した数値以上を強制的にゼロにする機能です。

## 前面キー説明



NO	記号	内容
	HOLD ランプ	ホールド表示時に点灯します。(オプション-H 選択時)
	モード (MODE) キー	パラメータ設定を行います。 3 秒間押すとパラメータ設定状態になります。
	(UP) キー	パラメータ設定状態で、数値アップさせる場合に用いる。 押し続けるとアップ速度が増します。
	(DOWN) キー	パラメータ設定状態で、数値ダウンさせる場合に用いる。 押し続けるとダウン速度が増します。
	セット (SET) キー	パラメータ設定値の変更を内部メモリに記憶させます。

## 各種設定の操作方法

### パラメータ設定方法

以下の手順は通過時間計の場合ですが回転・速度計の場合もこれに準じます。

手順 の順にパラメータ1～Prまで設定します。

手順	キー操作	表示および内容
	MODE 3秒間押す	(NO点滅) <input type="text" value="-"/> <input type="text" value="-"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="-"/> パラメータ1のNO表示(パラメータ設定開始)
	SET 1回押す	(最下位桁点滅) <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="1"/> パラメータ1の設定値表示
	SET 1回押す	(NO点滅) <input type="text" value="-"/> <input type="text" value="-"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="-"/> パラメータ1設定完了。パラメータ2のNO表示。
	SET 1回押す	(最下位桁点滅) <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="-"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="9"/> パラメータ2の設定値表示
	SET 1回押す	(NO点滅) <input type="text" value="-"/> <input type="text" value="-"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="-"/> パラメータ2設定完了。パラメータ3のNO表示。
	SET 1回押す	(最下位桁点滅) <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> パラメータ3の設定値表示
	および 任意に変更	<例>12.34に変更 まず数値設定 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="4"/>
	SET 1回押す	(小数点点滅) <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="4"/> .
	および 任意に変更	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="4"/>
	SET 1回押す	(NO点滅) <input type="text" value="-"/> <input type="text" value="-"/> <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="-"/> パラメータ3設定完了。パラメータ4のNO表示。
*	手順 ~	を繰り返し、順次、最終パラメータPrまで設定し、設定終了。

<注 1>左記操作方法の はパラメータ3,4のみで可能。  
数値設定した後、小数点位置を設定します。

### パラメータ設定について

1. パラメータNO表示状態(- - 1 -)で および で任意のパラメータへ移動できます。どのパラメータでも先送、逆戻ができます。
2. MODE を押すと、どのタイミングでも計測状態に戻ります。このとき、SET を押したところまで入力完了となります。
3. 60秒間設定変更がないと計測状態に戻ります。このときも、SET を押したところまで入力完了となります。
4. パラメータ設定中であっても計測は行われています。SET を押して設定完了後、新しい設定で動作します。
5. キー 叩外(パラメータPr)ONの場合、パラメータの設定値を表示しても設定変更は出来ません。設定変更する場合は、まず、キー 叩外をOFFにした後に設定変更を行ってください。

## 通過時間計と回転・速度計の機能切替方法

手順 の順に設定します。

手順	キー操作	表示および内容
	MODE 3秒間押す	(NO点滅) <input type="text" value="-"/> <input type="text" value="-"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="-"/> パラメータ1のNO表示(パラメータ設定開始)
	3秒間押す	<input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="F"/> <input type="text" value="C"/> ファンクションパラメータの表示
	SET 1回押す	(最下位桁点滅) <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="J"/> 設定値を表示
	および 任意に変更	<例>[r]に変更 <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value="r"/>
	SET 1回押す	計測表示に戻る

ファンクションパラメータの設定値は以下の通りです。

なお、出荷時の設定は「J」(通過時間計)となっております。

ファンクションパラメータ設定値	内容
「J」	通過時間計の場合
「r」	回転計・速度計の場合

上記例の場合、手順 は、パラメータ設定項目が変わり、回転計・速度計として動作します。

# パラメータ一覧表

表示に関する数値をパラメータに設定します。前面キーでパラメータを設定し内部に記憶します。

## J：通過時間計の場合（出荷時は通過時間計に設定されています。）

パラメータ名称	内容説明	設定範囲															
--1- 入力スピードフィルタ	使用するセンサーなどの最大出力周波数やノイズの影響に応じて入力スピード（感度）を調整。詳細は「入力スピード（パラメータ1）の設定について」参照。	1/2/3/4															
--2- 小数点位置	表示値およびコンパレータ値の小数点位置を設定。 60進法（時間表示）、10進法表示を小数点位置で設定します。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>表示範囲</th> <th>最大表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>99.59</td> <td>0.00 ~ 99.59</td> <td>99分59秒または99時間59分</td> </tr> <tr> <td>9.59.59</td> <td>0.00.00 ~ 9.59.59</td> <td>9時間59分59秒</td> </tr> <tr> <td>999.59</td> <td>999.59</td> <td>999分59秒または999時間59分</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0 ~ 99999</td> <td>0.0/0.00/0.000/0.0000も同様秒または分または時間（単に小数点をつけるのみ）</td> </tr> </tbody> </table>	設定値	表示範囲	最大表示	99.59	0.00 ~ 99.59	99分59秒または99時間59分	9.59.59	0.00.00 ~ 9.59.59	9時間59分59秒	999.59	999.59	999分59秒または999時間59分	0	0 ~ 99999	0.0/0.00/0.000/0.0000も同様秒または分または時間（単に小数点をつけるのみ）	99-59/9.59.59/999.59 0/0.0/0.00/0.000/0.0000
設定値	表示範囲	最大表示															
99.59	0.00 ~ 99.59	99分59秒または99時間59分															
9.59.59	0.00.00 ~ 9.59.59	9時間59分59秒															
999.59	999.59	999分59秒または999時間59分															
0	0 ~ 99999	0.0/0.00/0.000/0.0000も同様秒または分または時間（単に小数点をつけるのみ）															
--3- 掛算係数(m)	表示値の換算（スケリング）を行います。	0.0001 ~ 99999															
--4- 割算係数(n)	内部演算式：表示値 = $\frac{(m) \times (D)}{\text{入力信号} \times (n)}$ 入力信号は周波数(Hz)となります	0.0001 ~ 99999															
--5- 掛算係数(D)		1 ~ 99999															
--6- 表示周期	表示値の表示切替時間を設定。単位（秒）。設定した時間の平均値表示となります。	0.1/0.2/0.5/1/2/3/4/5															
--7- 移動平均	表示周期ごとの移動平均回数を設定。単位（回）応答速度は遅くなりますが、安定した表示が得られます。なお、1回の場合は移動平均なし。	1 ~ 10															
--8- ゼロリセット時間	表示値をゼロリセットする時間を設定。（演算待機時間）	1 ~ 1000															
--9- ゼロ固定	「5」:5の倍数表示。 「10」:10の倍数表示。（最下位桁ゼロ固定表示）	oFF/5/10															
-10- ホールド機能 (オプション-Hの場合動作します。)	HOLD 端子（NO. ）の機能を選択します。 1/11/21：表示値ホールド      2/12/22：最大値ホールド 3/13/23：最小値ホールド      4/14/24：変動巾（P-P）ホールド <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>動作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/2/3/4 11/12/13/14</td> <td>端子（HOLD）と端子（COM）との短絡の間、常にホールドデータを表示し HOLDランプが点灯します。OFF時、現在表示に戻る。</td> </tr> <tr> <td>21/22/23/24</td> <td>端子（HOLD）と端子（COM）との短絡の間、内部にホールドデータを記憶し、メータ前面の SET キーを押すとホールドデータを表示し（HOLDランプ点灯）、再度 SET キーを押すと計測表示に戻ります。ホールドデータのリセットは短絡 OFF で行います。常に現在計測値を表示し、任意に最大値などのホールドデータを呼び出せます。</td> </tr> </tbody> </table>	設定値	動作	1/2/3/4 11/12/13/14	端子（HOLD）と端子（COM）との短絡の間、常にホールドデータを表示し HOLDランプが点灯します。OFF時、現在表示に戻る。	21/22/23/24	端子（HOLD）と端子（COM）との短絡の間、内部にホールドデータを記憶し、メータ前面の SET キーを押すとホールドデータを表示し（HOLDランプ点灯）、再度 SET キーを押すと計測表示に戻ります。ホールドデータのリセットは短絡 OFF で行います。常に現在計測値を表示し、任意に最大値などのホールドデータを呼び出せます。	oFF/1/2/3/4/ 11/12/13/14/ 21/22/23/24									
設定値	動作																
1/2/3/4 11/12/13/14	端子（HOLD）と端子（COM）との短絡の間、常にホールドデータを表示し HOLDランプが点灯します。OFF時、現在表示に戻る。																
21/22/23/24	端子（HOLD）と端子（COM）との短絡の間、内部にホールドデータを記憶し、メータ前面の SET キーを押すとホールドデータを表示し（HOLDランプ点灯）、再度 SET キーを押すと計測表示に戻ります。ホールドデータのリセットは短絡 OFF で行います。常に現在計測値を表示し、任意に最大値などのホールドデータを呼び出せます。																
-11- ゼロゼロ	不必要に大きい数値を表示する事を防ぐため最大表示値を設定します。 設定した数値より大きい表示値をゼロ表示します。 設定は10進法で設定。（10分は600と設定。）なお、小数点を無視した数値で設定。	oFF/1 ~ 99999															
-Pr- キープロテクト	パラメータ設定およびオートスケリングを禁止します。	OFF/on															

## r : 回転計・速度計の場合

パラメータ名称		内容説明	設定範囲					
--1-	入力スピードフィルタ	使用するセンサなどの最大出力周波数やノイズの影響に応じて入力スピード(感度)を調整。 詳細は「入力スピード(パラメータ1)の設定について」参照。	1/2/3/4					
--2-	掛算係数(m)	表示値の換算(スケール)を行います。	0.0001 ~ 99999					
--3-	掛算係数(k)	内部演算式: 表示値 = 入力周波数 × $\frac{(m) \times (k)}{(n)}$ 入力周波数の単位は(Hz)。	1 ~ 99999					
--4-	割算係数(n)		0.0001 ~ 99999					
--5-	小数点位置	表示値およびコンパレータ値の小数点位置を設定。 なお、単に小数点を点灯する位置を指定するものとする。	0/0.0/0.00/0.000 /0.0000					
--6-	表示周期	表示値の表示切替時間を設定。単位(秒)。設定した時間の平均値表示となります。	0.1/0.2/0.5/1/2/3/4/5					
--7-	移動平均	表示周期ごとの移動平均回数を設定。単位(回) 応答速度は遅くなりますが、安定した表示が得られます。なお、1回の場合は移動平均なし。	1 ~ 10					
--8-	ゼロリセット時間	表示値をゼロリセットする時間を設定。(演算待機時間)	1 ~ 1000					
--9-	ゼロゼロ	設定した数値以下をゼロ表示します。なお、小数点を無視した数値で設定。	oFF/1 ~ 99999					
-10-	ホールド機能 (オプション-Hの場合 動作します。)	HOLD 端子 (NO. ) の機能を選択します。 1/11/21: 表示値ホールド      2/12/22: 最大値ホールド 3/13/23: 最小値ホールド      4/14/24: 変動巾(P-P)ホールド	oFF/1/2/3/4/ 11/12/13/14/ 21/22/23/24					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>動作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/2/3/4</td> <td>端子 (HOLD)と端子 (COM)との短絡の間、常にホールドデータを表示し HOLDランプが点灯します。OFF時、現在表示に戻る。</td> </tr> <tr> <td>11/12/13/14</td> <td>端子 (HOLD)と端子 (COM)との短絡の間、内部にホールドデータを記憶し、メータ前面の SET キーを押すとホールドデータを表示し (HOLDランプ点灯)、再度 SET キーを押すと計測表示に戻ります。ホールドデータのリセットは短絡 OFFで行います。常に現在計測値を表示し、任意に最大値などのホールドデータを呼び出せます。</td> </tr> <tr> <td>21/22/23/24</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		設定値	動作	1/2/3/4	端子 (HOLD)と端子 (COM)との短絡の間、常にホールドデータを表示し HOLDランプが点灯します。OFF時、現在表示に戻る。	11/12/13/14
設定値	動作							
1/2/3/4	端子 (HOLD)と端子 (COM)との短絡の間、常にホールドデータを表示し HOLDランプが点灯します。OFF時、現在表示に戻る。							
11/12/13/14	端子 (HOLD)と端子 (COM)との短絡の間、内部にホールドデータを記憶し、メータ前面の SET キーを押すとホールドデータを表示し (HOLDランプ点灯)、再度 SET キーを押すと計測表示に戻ります。ホールドデータのリセットは短絡 OFFで行います。常に現在計測値を表示し、任意に最大値などのホールドデータを呼び出せます。							
21/22/23/24								
-11-	予測演算	減速状態で次の入力を予測して徐々に表示値を下げます。表示値は次のパルスをゼロリセット時間で設定した間、保持せず予測演算しながらゼロに近づきます。(1Hz以下で動作)	oFF/on					
-12-	ゼロ固定	「5」:5の倍数表示。 「10」:10の倍数表示。(最下位桁ゼロ固定表示) 「100」:100の倍数表示。(最下位1,2桁ゼロ固定表示)	oFF/5/10/100					
-Pr-	キーロック	パラメータ設定およびオートスケールを禁止します。	OFF/on					

## 入力スピード(パラメータ1) の設定について

パラメータ1の設定により最大入力スピードの変更が可能です。以下の表は設定値と最大入力周波数の関係です。

通常、出荷時の設定(参照)で計測を行い、計測する最大周波数やノイズなどの影響などで表示値にちらつきがある場合は設定値をこの大小関係(参照)で変更して下さい。

なお、以下の最大周波数は安定した信号レベルで計測可能な最大周波数です。(最大周波数に巾がありますので目安にして下さい。)

型 式	MJ41 1 (方形波パルス)	MJ41 2 (ACタコジェネ)	MJ41 3 (マグネチックセンサ)
パラメータ1 = [1]または[2]	max 30Hz	max 30Hz	max 30Hz
パラメータ1 = [3]	max 10kHz	max 3kHz	max 10kHz
パラメータ1 = [4]	max100kHz	max 3kHz	max 30kHz
出荷時の設定	[3]	[3]	[3]
大小関係	[4]>[3]>[2]=[1]	[4]=[3]>[2]=[1]	[4]>[3]>[2]=[1]

接点入力の場合は[1]または[2]を設定してください。

# オートスケールリング (パラメータ設定数値がわからない場合および微調整)

## J: 通過時間計の場合

スケールリングに必要な数値はパラメータ3~5で設定します。  
 オートスケールリングは希望の数値になるようにパラメータ3~5を自動で設定する  
 ものです。

・使用条件
1. 0表示以外で操作(実際に信号を入力してください。)
2. 100kHz>実行時の入力周波数>0Hz
3. パラメータPr=OFF

ストップウォッチなどで測定した通過時間をメータに打ち込むだけで、回転数に応じた通過時間を表示します。  
 まず、信号を入力して0-00以外の数値が表示されたらオートスケールリングを実行してください。  
 なお、出荷時のパラメータ設定値では、1000Hz入力で1-00(1分00秒または1時00分)表示になります。  
 (注)0-00は入力無の状態、停止以外で0-00が表示される場合は、配線および信号発生源(センサやインパルスタなど)を確認してください。

手順	キー操作	表示および内容
		3 - 4 8
	計測を行い、	3-48表示を4-00表示に変更する場合
	3秒間押す	(最下位桁点滅) 3 - 4 8
	および 任意に変更	(最下位桁点滅) 4 - 0 0
	SET 1回押す	4 - 0 0 オートスケールリング完了。計測表示に戻る。

実行後、パラメータに以下の値が自動設定されます。

パラメータNO	名称	設定値
--3-	掛算計数: 実行時の入力周波数(Hz)	1440
--4-	割算計数: 「1」を自動設定	1
--5-	掛算計数: 変更した表示値	228

- スケールリングのみ本操作で行えますが、小数点位置などパラメータ3~5以外の項目についてはマニュアルで設定して下さい。
- パラメータ3に小数点を含む数値が設定されていた場合は設定されていた小数点位置に従い周波数が設定されます。ただし、最大5桁の範囲内で最下位桁は四捨五入して設定します。

## r: 回転計・速度計の場合

スケールリングに必要な数値はパラメータ2~4で設定します。  
 オートスケールリングは希望の数値になるようにパラメータ2~4を自動で設定する  
 ものです。  
 例えば、ハンドタコメータなどで測定した速度や回転数をメータに打ち込むだけ  
 で、希望の数値にスケールリングします。  
 まず、信号を入力して0以外の数値が表示されたらオートスケールリングを実行  
 してください。

・使用条件
1. 0表示以外で操作(実際に信号を入力してください。)
2. 100kHz>実行時の入力周波数>0Hz
3. パラメータPr=OFF

手順	キー操作	表示および内容
		1 4 4 0
	計測を行い、	1440表示を3600表示に変更する場合
	3秒間押す	(最下位桁点滅) 1 4 4 0
	および 任意に変更	(最下位桁点滅) 3 6 0 0
	SET 1回押す	3 6 0 0 オートスケールリング完了。計測表示に戻る。

実行後、パラメータに以下の値が自動設定されます。

パラメータNO	名称	設定値
--2-	掛算計数: 「1」を自動設定	1
--3-	掛算計数: 変更した表示値	3600
--4-	割算計数: 実行時の入力周波数(Hz)	1440

- スケールリングのみ本操作で行えますが、小数点位置などパラメータ2~4以外の項目についてはマニュアルで設定して下さい。
- パラメータ4に小数点を含む数値が設定されていた場合は設定されていた小数点位置に従い周波数が設定されます。ただし、最大5桁の範囲内で最下位桁は四捨五入して設定します。

## 設定例 (機械的な数値を設定する場合)

### J: 通過時間計の場合

設定 :  
回転部に 360(p/r) のエンコーダを取付け通過距離(工程距離) 1m の通過時間を表示する場合。  
ただし、エンコーダ取付部の周長 0.2m、計測する場所は変速比 1/100 の場合とする。

NO	設定内容	設定値
--3-	(1 回転当りのパルス数)	360
--4-	1 回転当りの移動距離(m) × (変速比)	0.2 × (1/100)=0.002
--5-	工程距離(m)	1

設定 :  
この場合、100rpm で回転した時の周波数は 600Hz(=100 ÷ 60 × 360 周波数は 1 秒当りのパルス数と解釈してください。)で、このときの通過時間をストップウォッチで計ると 5 分(300 秒)となった。

NO	設定内容	設定値
--3-	入力周波数(Hz)	600
--4-	(固定値「1」を設定)	1
--5-	通過時間	300

設定 ともに同じ結果になります。

(例) 600Hz 入力の場合、

$$\text{設定の通過時間} = \frac{(\text{パラメータ 3}) \times (\text{パラメータ 5})}{(\text{Hz}) \times (\text{パラメータ 4})} = \frac{360 \times 1}{600 \times 0.002} = 300 \text{ (秒)}$$

$$\text{設定の通過時間} = \frac{(\text{パラメータ 3}) \times (\text{パラメータ 5})}{(\text{Hz}) \times (\text{パラメータ 4})} = \frac{600 \times 300}{600 \times 1} = 300 \text{ (秒)}$$

なお、設定 の場合などは特にオートスケリングを使えば簡単にスケリングできます。

### r: 回転計・速度計の場合

#### センサを使用して回転数および周速度を表示する場合

1 回転 200 パルスのエンコーダで回転数(rpm)  
または速度(m/min)を表示する場合。  
ただし、エンコーダ取付部のロー周長 0.24m、回転数  
または速度を計測する場所は変速比 3/4 とする。

NO	設定内容	設定値(rpm)	設定値(m/min)
--2-	(1 回転当りの周長 m) × (変速比)	3/4=0.75	3/4 × 0.24=0.18
--3-	60	60	60
--4-	1 回転当りのパルス数	200	200

#### インバータやモータなどの周波数(Hz)入力の場合

1440Hz 出力時、ロードコマンドで回転数を計測したところ、現在 1350rpm であった。  
なお、現在の周波数がわからない場合は、パラメータ 2~4=1 として計測し、表示値が周波数(Hz) となります。なお、この場合、オートスケリングを使えば簡単にスケリングできます。

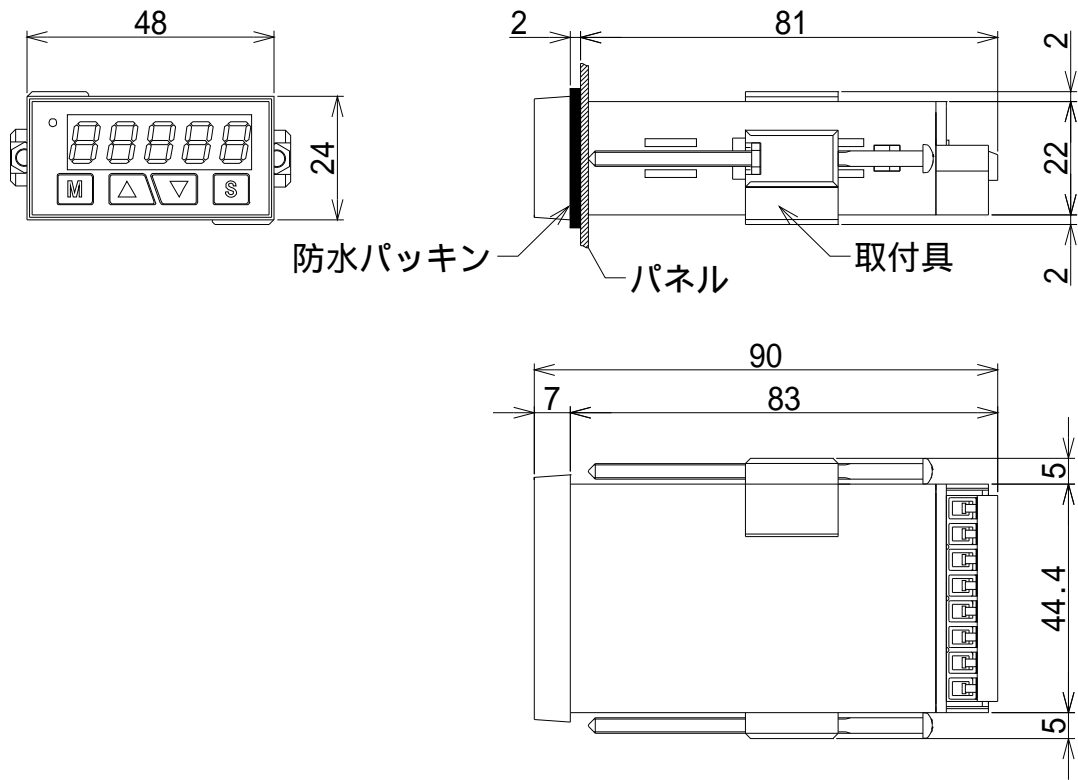
NO	設定内容	設定値
--2-	1	1
--3-	希望値	1350
--4-	入力周波数(Hz)	1440

## エラー表示

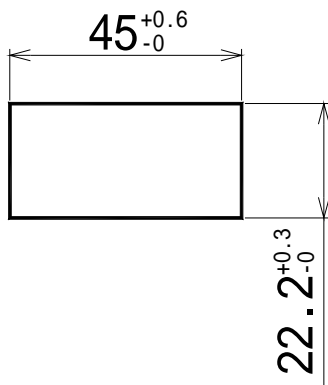
動作中や設定などに異常があれば以下のエラー表示します。

表示	原因	解除方法
(表示値の点滅)	表示範囲以上の表示になる計測結果となった場合。	パラメータを設定しなおす。
(異常な表示)	計測が不可状態になっている場合。	自動復帰して初期インシャイス処理後、計測を行います。 なお、復帰しない場合は電源を再投入して下さい。
error	内部記憶異常で設定データに異常があった場合。	電源を再投入しエラー表示を解除し計測を行う。 なお、パラメータ設定値が初期値に書き換えられている可能性がありますのでパラメータ設定値の確認を行って下さい。

# 外形寸法図



パネルカット



# 型式構成および入力仕様

MJ41 E 1 - H

電源電圧	
B	AC100V
C	AC200V
E	DC24V

入力信号	
1	方形波パルス
2	ACタコジェネ
3	マグネチックセンサ
90	その他

ホールド端子	
(無)	無
H	ホールド端子付

商品に関するお問い合わせは  
右記へご連絡ください

## **Henixヘニックス株式会社**

本 社

〒572-0038 大阪府寝屋川市池田新町 1-25  
TEL 072-827-9510 FAX 072-827-9445